



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 澤藤電機株式会社

コード番号 6901 URL <http://www.sawafuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 久野 陽二 TEL 0276-56-7138

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	21,026	6.1	△287	-	△120	-	△168	-
26年3月期第3四半期	19,813	△6.3	△78	-	△10	-	△9	-

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △130百万円 (-%) 26年3月期第3四半期 609百万円 (52.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△7.83	-
26年3月期第3四半期	△0.45	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	20,564	7,331	35.2
26年3月期	19,985	7,688	37.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 7,240百万円 26年3月期 7,441百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	3.00	3.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,800	1.8	250	13.5	360	9.7	150	△31.9	6.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名） 、除外 1社（社名） MARKON SAWAFUJI LTD.

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	21,610,000株	26年3月期	21,610,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	30,611株	26年3月期	29,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	21,579,562株	26年3月期3Q	21,580,960株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	P. 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	P. 3
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
四半期連結損益計算書 .....	P. 6
四半期連結包括利益計算書 .....	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日までの9ヶ月間)の国内経済は、円安による原材料価格の上昇や、消費税による影響はみられましたが、総じて緩やかな回復が続きました。海外経済は、米国では緩やかな回復基調が続いた一方、欧州は持ち直しの動きもあるが原油価格の急落によるロシア経済悪化の影響が懸念され、東南アジア諸国の新興国の景気拡大に向けた動きは足踏み状態、また中国でも経済成長ペースの鈍化が続くなど依然として先行き不透明な中で推移いたしました。このような経済環境の下、当社グループの売上高は210億26百万円(前年同期比12億12百万円増)となりました。

事業別の売上高は、電装品事業は、タイ、インドネシア、中国など海外向けの低迷はありましたが、国内向けが堅調に販売を伸ばしたことにより、95億61百万円(前年同期比3億80百万円増)となりました。

発電機事業は、受託生産している発電機の官公庁向け予算見直しによる販売減があったものの、自社ブランド発電機「ELEMEX」が円安の追い風もあって中東・アフリカ向けを中心に販売を伸ばしたことに加え、10月から市場投入を開始した自社ブランド新型発電機「ELEMEX」バリューシリーズの販売増があり、68億59百万円(前年同期比9億93百万円増)となりました。

冷蔵庫事業は、オーストラリアでの販売台数減と廉価モデルの販売比率上昇による販売減、また、南アフリカなど海外市場での販売減により、41億51百万円(前年同期比2億77百万円減)となりました。

次に損益面では、電装品事業及び発電機事業の販売増はありましたが、冷蔵庫事業のオーストラリアでの販売減、円安による仕入コスト増、新型発電機の生産準備の為の経費増等に加え、初期販売経費の増等もあり営業損失2億87百万円(前年同期比2億8百万円の損失増)、経常損失1億20百万円(前年同期比1億9百万円の損失増)、四半期純損失1億68百万円(前年同期比1億59百万円の損失増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末は、総資産が205億64百万円となり、前年度末と比較して5億79百万円の増加となりました。これはたな卸資産の増加等によるものです。

負債は、132億33百万円となり、前年度末と比較して9億37百万円の増加となりました。これは買掛債務の増加等によるものです。

純資産は、73億31百万円と、前年度末と比較して3億57百万円の減少となりました。これは四半期純損失1億68百万円を計上したこと、剰余金の配当64百万円を行ったこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、営業損失2億87百万円(前年同期比2億8百万円の損失増)、経常損失1億20百万円(前年同期比1億9百万円の損失増)、四半期純損失1億68百万円(前年同期比1億59百万円の損失増)となりましたが、第4四半期において、自社ブランド発電機「ELEMEX」の既存シリーズ、10月より市場投入を開始した新型発電機のバリューシリーズ、オーストラリア向け冷蔵庫等の販売増が見込まれることに加え、原価低減などによる収益改善効果を見込んでおり、今後の当社グループの状況を総合的に勘案した結果、当連結会計年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想及び個別業績予想は据え置いております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であった MARKON SAWAFUJI LTD. は平成26年7月22日付で清算が終了した為、第2四半期連結累計期間より連結の範囲から除外しております。また、同社の清算終了に関しては平成26年8月8日に当社平成27年3月期第1四半期決算短信において重要な後発事象として開示しており、その概要は以下の通りであります。

#### ・解散及び清算の理由

当社は、欧州での当社汎用発電機用発電体のシェア拡大を目的とし、平成13年9月英国に合弁子会社 MARKON SAWAFUJI LTD. を設立し事業活動を続けてまいりました。しかしながら欧州での中国製発電機の台頭に伴い、同社製品市場は縮小し、同社の業績も低迷しておりました。今後も欧州での厳しい事業環境は継続することが見込まれることから、当社の中長期的な展望を考慮した結果、同社を解散及び清算するものであります。

- ・当該子会社の名称、事業内容及び出資比率

名称 MARKON SAWAFUJI LTD.

事業内容 発電機用発電体の製造・販売

出資比率 当社 59.9%

- ・清算終了日

平成26年7月22日

- ・当該解散及び清算による損益への影響

当該解散及び清算に伴う損益への影響は算定中でありましたが、第2四半期連結会計期間において金額が確定し、特別損失として76百万円を計上しております。

- ・当該解散及び清算による営業活動等への影響

当該解散及び清算に伴う営業活動等への影響は軽微であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金及び当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,106	1,505
受取手形及び売掛金	5,557	5,155
商品及び製品	2,355	2,989
仕掛品	1,709	2,082
原材料及び貯蔵品	467	256
繰延税金資産	350	357
その他	263	369
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	11,796	12,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	897	859
機械装置及び運搬具(純額)	1,522	1,394
土地	1,011	1,011
建設仮勘定	156	116
その他(純額)	327	280
有形固定資産合計	3,915	3,662
無形固定資産	179	155
投資その他の資産		
投資有価証券	4,010	3,961
繰延税金資産	29	30
その他	53	52
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,093	4,045
固定資産合計	8,188	7,862
資産合計	19,985	20,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,450	6,425
短期借入金	1,420	1,985
未払法人税等	115	23
製品保証引当金	228	224
賞与引当金	404	142
役員賞与引当金	15	—
その他	1,514	1,068
流動負債合計	9,149	9,869
固定負債		
長期借入金	3	280
退職給付に係る負債	2,679	2,612
役員退職慰労引当金	107	130
資産除去債務	127	129
繰延税金負債	228	211
固定負債合計	3,146	3,364
負債合計	12,296	13,233
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	117	117
利益剰余金	4,063	3,829
自己株式	△7	△7
株主資本合計	5,253	5,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,320	2,289
為替換算調整勘定	161	186
退職給付に係る調整累計額	△294	△255
その他の包括利益累計額合計	2,187	2,220
少数株主持分	247	90
純資産合計	7,688	7,331
負債純資産合計	19,985	20,564

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	19,813	21,026
売上原価	18,124	19,377
売上総利益	1,688	1,648
販売費及び一般管理費	1,766	1,935
営業損失(△)	△78	△287
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	67	75
固定資産賃貸料	39	40
為替差益	—	48
その他	24	25
営業外収益合計	136	191
営業外費用		
支払利息	8	16
為替差損	50	—
固定資産賃貸費用	8	8
その他	0	0
営業外費用合計	68	24
経常損失(△)	△10	△120
特別利益		
有形固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
有形固定資産売却損	0	0
有形固定資産処分損	0	0
子会社清算損	—	76
特別損失合計	1	77
税金等調整前四半期純損失(△)	△11	△192
法人税等	18	△14
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30	△178
少数株主損失(△)	△20	△9
四半期純損失(△)	△9	△168



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30	△178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	559	△31
為替換算調整勘定	79	39
退職給付に係る調整額	-	39
その他の包括利益合計	639	48
四半期包括利益	609	△130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	601	△135
少数株主に係る四半期包括利益	7	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。